

No.

検 印	校 長		教 頭		教 務	
--------	--------	--	--------	--	--------	--

2023 年度 英語 科 シラバス

山形県立長井高等学校

科目	英語コミュニケーション I	単位数	3	週時間数	3	年次・コース・組	1 年次・探究コース
使用教材	教科書 Heartening English Communication I 4技能学習Naviブック 参考書 Genius総合英語			担当者	今野 マリナ		

目 標	1. 英語で「聞く」、「読む」、「話す(やり取り・発表)」、「書く」の言語活動を通して、情報や考えなどを的確に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を身に付ける。 2. 授業の予習・復習、課題への取組等により、言語活動を行う基盤となる文法、発音、語彙・表現等の知識・技能を身に付ける。語彙力については、年度末までに習得語数2800語以上を目指す。
-----	---

身につけてもらいたい力

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評 価 規 準	ステップ 3 ・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に論理的に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を論理性に注意して相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を論理性に注意して相手に伝えようとしている。
	ステップ 2 ・英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に適切に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を適切に相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を適切に相手に伝えようとしている。
	ステップ 1 ・英語の特徴や決まりに関する基礎事項を理解している。 ・コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報や考え、気持ちなどを相手に伝える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を相手に伝えている。	コミュニケーションを行う目的・場面・状況などに応じて、日常的な話題について、必要な情報を読み取ったり聞き取ったりするとともに、自分の気持ちや考え等を相手に伝えようとしている。
評価方法	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、課題テスト、小テスト	授業時の観察、定期試験、パフォーマンステスト、課題テスト、小テスト	授業の取り組み姿勢や意欲、課題への取り組み、自己評価シート

※この評価規準(目標)により評価しますが、各単元の目標や難易度によって達成度が変わってきます。

それらを考慮しながらA、B、Cの評価をし、またそれを基に5段階の評価がつきます。

授業の形態、方法

授業では主に語彙の確認、内容把握、重要事項の説明、音読、リテリングを行います。
一斉授業の他に、グループ学習、ペア学習、発表などを行います。

担当者より

授業は予習したことを復習する場、予習段階で不明だった点を理解していく場と考え、授業には必ず予習をして臨むこと。授業後は、学習内容の理解を深め、自分のものとして使うことができるようにするため、音読を中心とした復習をすること。

検 印	校 長		教 頭		教 務	
--------	--------	--	--------	--	--------	--

学習計画

月	単 元 名	予定時数	学 習 の 内 容 と ね ら い	実施時数
4	Lesson 1 Bringing Out the Best in Himself	8	・英語を学習しながらNBA選手になる夢を実現した八村塁選手の半生を描いた物語文を読み、自主・自律の精神を養い、他者との協力を重んずる態度を養う。 ・現在形／過去形／進行形、未来表現等の言語材料を用いて、部活動に関するインタビューを聞いたり、友人にインタビューをしたり、インタビューした内容を書いたりすることができるようにする。	
5	Lesson 2 Hold On, Anzu! (前期中間試験Ⅰ)	8 1	・人間の心理や行動の特徴を利用し、創造的にポイ捨てをなくす方法を述べた論証文を読み、公共の精神に基づき、主体的に社会に参画する態度を養う。 ・さまざまな受動態(be動詞＋過去分詞)、前置詞等の言語材料を用いて、ポイ捨てを減らす方法に関する会話を聞いたり、賛成・反対を表明し、決定にむけた意見交換をしたり、ポイ捨てを減らす方法を友人に話したり、質問文を考えて書いたりすることができるようにする。	
6	Lesson 3 We Can Make a Difference (前期中間試験Ⅱ)	8 1	・捨てられた小型犬が警察犬として活躍するまでを述べた物語文を読み、個人の価値を尊重し、その能力を伸ばす精神を培い、生命を尊ぶ態度を養う。 ・現在完了形／現在完了進行形、過去完了形／過去完了進行形等の言語材料を用いて、トイプードルの警察犬に対する生徒たちの感想を聞いたり、他の人のプレゼンテーションに質問をしたり、トイプードルの警察犬について感想を述べたり、プレゼンテーションの原稿を書いたりすることができるようにする。	
7	Lesson 4	8	・世界の人々が受けている気候変動の影響と、問題への取り組みについて述べた説明文・意見文を読み、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	
8	Creative Problem Solving		・助動詞・助動詞の過去形等の言語材料を用いて、CO2削減についての生徒たちの意見を聞いたり、CO2削減の取り組みについてグループで話し合ったり、世界各地の気候変動による影響を伝えたり、CO2削減対策に関する意見を書いたりすることができるようにする。	
9	Lesson 5 Canned Bread to Feed the World (前期期末試験)	8 1	・食糧廃棄問題の解決と飢餓地域への支援を可能とするシステムを構築したパン・アキモトの取り組みを述べた物語文を読み、主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する精神を養う。 ・不定詞(to＋動詞の原形)／SVO＋to do、SV(知覚動詞・使役動詞)＋O＋動詞の原形等の言語材料を用いて、救世軍プロジェクトに関する会話を聞いたり、プロジェクトへの参加を勧める、それに対して返答したり、パンの缶詰に関する情報を整理して伝えたり、プロジェクトへの参加を勧めるメッセージを書いたりすることができるようにする。	
10	Lesson 6 Could We Have a Real Jurassic Park?	8	・恐竜再生の可能性について論じた説明文を読み、幅広い教養を身に付け、真理を求める態度や道徳心を養う。 ・動名詞(doing)、SVC(分詞)等の言語材料を用いて、恐竜再生に関する会話を聞いたり、恐竜再生について自分の意見を言ったり、恐竜再生の可能性について説明したり、恐竜再生について自分の意見を述べるパラグラフを書くことができるようにする。	
11	Lesson 7 Behind the Price Tag (後期中間試験)	8 1	・安価な衣類製造プロセスにおける労働者の実態を述べた説明文と問題に対して対立する二者の意見文を読み、正義と責任を重んずるとともに、主体的に社会の形成に参画する態度を養う。 ・SVOC(分詞)、分詞構文等の言語材料を用いて、安価なシャツに関するミニ・ディベートを聞いたり、相手の意見に賛成・反対を表明し、理由を説明したり、講演内容とそれに対する異なる立場の主張を伝えたり、講演内容とそれに対する異なる立場の主張をパラグラフで書いたりすることができるようにする。	
12	Lesson 8 The World's Winter Festival	13	・世界の冬の祭りを比較し、その共通性について論じた説明文を読み、日本をはじめ他国の伝統や文化を尊重する精神を培う。 ・比較に関する表現、従属接続詞等の言語材料を用いて、冬の祭りに関する会話を聞いたり、相手の情報を確認しながらインタビューしたり、世界の祭りの共通性を論理的に伝えたり、祭りに参加するための申し込み用紙に必要事項を記入したりできるようにする。	
1	Lesson 9	12	・木々が大きな森となって繁栄するために互いに協力している科学的事実を述べた説明文を読み、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う。	
2	Talking Trees (後期期末試験)	1	・関係代名詞、関係副詞、関係代名詞の非制限用法等の言語材料を用いて、木のコミュニケーションに関する展示の感想を聞いたり、相手の発言の意図を確認しながら自分の意見を言ったり、木のコミュニケーション方法を説明したり、展示内容でもっとも印象に残ったことなどを書いたりすることができるようにする。	
合計時数		86		